

被扶養者を対象にした成果連動型 遠隔・訪問健康支援事業

佐賀銀行健康保険組合の健康課題と解決方策

佐賀銀行健保組合の健康課題

被扶養者の特定健診受診率・保健指導実施率が低い

課題を解決することで、取り組み成果を高めることが可能

地方銀行健保に共通している課題

これまでの取り組み

被扶養者の特定健診受診者への
金銭的インセンティブ付与

要因①

広域にまたがる居住地ゆえの
健診・保健指導へのアクセス悪

要因②

被扶養者の健康意識向上への
アプローチが困難

解決方策

①

被扶養者の健診・保健指導のアクセスを向上

解決方策

②

緻密な参加勧奨で被扶養者にアプローチ

解決方策

③

結果を出す保健指導プログラム

オンライン及び訪問健康支援を活用して、被扶養者の特定健診・保健指導のアクセスを向上させ、これまでの取り組み(金銭的インセンティブ)効果の最大化を図る。

被扶養者を対象にした成果連動型 遠隔・訪問健康支援事業

保健指導プログラム概要

被扶養者健診受診率低・保健指導実施率低の背景要因

地銀健保
特有課題

広域にまたがる居住地ゆえの健診・保健指導へのアクセス悪

被扶養者の健康意識向上へのアプローチが困難

健保

対象者抽出

- R2年度被扶養者
特定健診
未受診者
- R2年度被扶養者
特定保健指導
未実施者
- R2年度被扶養者
重複・頻回受診者
多剤投薬者

セグメント化
多様なアプローチ

参加勧奨

- 郵送通知
(ナッジ理論)
- メール通知
(ナッジ理論)
- 電話勧奨

選択プログラム
アクセス向上

保健指導

事業者 月1回×3-6か月

- 訪問
健康支援
- オンライン
保健指導
- 調剤薬局
保健指導
(対面・オンライン)

結果を出す
保健指導

健保

効果測定

成果連動型

- R3年度被扶養者
特定健診
受診率
- R3年度被扶養者
特定保健指導
実施率
- 生活習慣改善
- 医療費適正化

オンライン保健指導
URL・QRコード



健診未受診者は
コンビニ健診等へ



SNSコミュニティ
で継続受診へ

健保

事業者

【検討会議開催】成果連動型による事業実施上の課題抽出および解決方策の検討

地方銀行健保
保健事業モデルの構築

健保組合と民間事業者が協働・役割分担して、成果連動型保健指導プログラムを実施。地方銀行健保特有の課題解決し、全国の地方銀行健保保健事業モデルの構築を図る。